

みなとの設備も環境に配慮しています

アイランドシティ コンテナターミナル



博多港は、西日本の海の玄関口としてアジア・世界につながる国際貿易港であり、私たちのくらしや経済を支えています。その中でもアイランドシティのコンテナターミナルは、多くの国際海上コンテナを取り扱うターミナルです。

■トランスファークレーン※1の全面電動化

環境に配慮した世界最高水準のエココンテナターミナルを目指して、平成22年より、エンジンで稼働していたトランスファークレーンを順次、電動化し、世界初となる完全電動式8基を含めた26基全てを電動化しました。



アイランドシティコンテナターミナルのコンテナ船

従来の軽油を使用するものよりも年間約2,100トンのCO₂の排出を削減することができます。



※1 トランスファークレーン
コンテナを積み降ろしするためのクレーン



※2 リーフター設備
冷蔵、冷凍輸送コンテナへの電力供給設備

■リーフター設備※2の省電力化

リーフター設備に折りたたみ式の屋根を設置してコンテナへの直射日光を抑え、冷却に要する電力消費量を削減しています。

CO₂の排出量を削減できるだけでなく、運営コストの削減にも効果が出ています!!

二酸化炭素の新たな吸収源として注目される「ブルーカーボン」

■ブルーカーボンとは

森林などの陸上の植物が吸収・固定する炭素を「グリーンカーボン」と呼びますが、アマモなどの海藻やワカメなどの海藻など、海の生物の作用で海中に取り込まれる炭素は「ブルーカーボン」とよばれ、新たな二酸化炭素吸収源として世界的に注目されています。

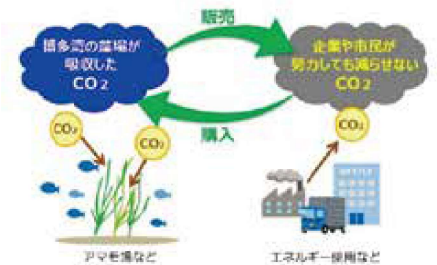


グリーンカーボンとブルーカーボン

■「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」と「アマモ場づくり活動」

福岡市では、アマモ場などが吸収・固定した二酸化炭素量をクレジット化して販売し、その収益を博多湾の環境保全活動に活用する「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」を令和2年度に創設しました。

クレジットの販売収益は、「博多湾NEXT会議」で実施しているアマモ場づくり活動をはじめ、博多湾の環境保全創造の取組みに活用しています。



福岡市博多湾
ブルーカーボン・オフセット制度

クレジットの販売収益をアマモ場づくり活動に活用!



環境学習で小学生が育てたアマモの苗



エコパークゾーンにアマモの苗を植え付け